



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サイバーエージェント

コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤田 晋

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 中山 豪

TEL 03-5459-0202

四半期報告書提出予定日 平成29年1月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	86,571	16.9	6,354	△51.1	5,930	△53.7	1,326	△77.6
28年9月期第1四半期	74,030	16.7	12,986	3.6	12,814	0.9	5,913	△7.0

(注)包括利益 29年9月期第1四半期 3,117百万円 (△60.3%) 28年9月期第1四半期 7,853百万円 (△11.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年9月期第1四半期	10.54	10.50
28年9月期第1四半期	47.09	46.93

(注1)当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(注2)「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定の基礎となる四半期純利益は「親会社株主に帰属する四半期純利益」であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	144,210	91,306	51.9
28年9月期	156,597	92,614	49.3

(参考)自己資本 29年9月期第1四半期 74,861百万円 28年9月期 77,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年9月期	—	0.00	—	50.00	50.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、平成28年9月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	360,000	15.9	28,000	△23.9	26,700	△24.5	10,000	△26.5	79.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」の算定の基礎となる当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期1Q	126,426,600 株	28年9月期	126,426,600 株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	699,716 株	28年9月期	724,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期1Q	125,714,359 株	28年9月期1Q	125,565,296 株

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成28年3月末における一般世帯のスマートフォン普及率は67.4%（注1）まで拡大し、平成29年のスマートフォン広告市場は、前年比18.2%増の5,369億円（注2）と順調な成長が見込まれます。特に動画広告市場（PC含む）の急成長が予想され、平成29年には前年比39.9%増の1,178億円に拡大し、平成34年には2,918億円に達すると予測されております（注3）。

このような環境のもと、当社グループは、引き続きスマートフォン市場の成長を取り込む一方で、中長期の柱に育てるため、「AbemaTV」等の動画事業への先行投資を強化し、当第1四半期連結累計期間における売上高は86,571百万円（前年同期比16.9%増）、営業利益は6,354百万円（前年同期比51.1%減）、経常利益は5,930百万円（前年同期比53.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,326百万円（前年同期比77.6%減）となりました。

出所 （注1）内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査（平成28年3月実施調査結果）」

（注2）CyberZ/シード・プランニング「2016年スマートフォン広告市場動向調査」

（注3）当社/デジタルインファクト「国内動画広告の市場動向調査」

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①メディア事業

メディア事業には、「AbemaTV」、「FRESH!」、「Ameba」等が属しております。

「AbemaTV」等の動画事業への先行投資により、売上高は5,932百万円（前年同期比1.9%増）、営業損益は4,588百万円の損失計上（前年同期間683百万円の利益計上）となりました。

②ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)サムザップ、(株)ジークレスト、(株)アプリボット等が属しております。

好調な主力タイトルに加え、新規タイトルのリリース、広告宣伝費の積極投下により、売上高は34,649百万円（前年同期比16.5%増）、営業損益は6,455百万円の利益計上（前年同期比26.9%減）となりました。

③インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

スマートフォン向けのインフィード広告（注）や動画広告の順調な販売等により、売上高は48,774百万円（前年同期比19.8%増）、営業損益は4,726百万円の利益計上（前年同期比31.9%増）となりました。

（注）インフィード広告：Webサイトやアプリのタイムライン等に掲載される広告

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・ベンチャーズにおけるファンド運営等が属しており、売上高は89百万円（前年同期比75.6%減）、営業損益は97百万円の損失計上（前年同期間90百万円の利益計上）となりました。

⑤その他事業

その他事業には、(株)シーエー・モバイル、(株)ウェディングパーク等が属しており、売上高は2,851百万円（前年同期比33.5%増）、営業損益は417百万円の利益計上（前年同期比164.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は144,210百万円(前連結会計年度比12,387百万円の減少)となりました。これは、主に法人税等及び配当金の支払等に伴う現金及び預金の減少によるものであります。

負債は52,903百万円(前連結会計年度比11,079百万円の減少)となりました。これは、主に法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は91,306百万円(前連結会計年度比1,307百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払等に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて17,673百万円減少し、34,094百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは8,863百万円の減少(前年同期間は4,135百万円の減少)となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは5,713百万円の減少(前年同期間は5,145百万円の減少)となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは3,466百万円の減少(前年同期間は4,260百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月27日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,774	34,095
受取手形及び売掛金	42,572	44,283
たな卸資産	192	219
営業投資有価証券	12,591	12,459
その他	7,703	9,113
貸倒引当金	△187	△182
流動資産合計	114,647	99,988
固定資産		
有形固定資産	8,633	8,867
無形固定資産		
のれん	1,821	1,832
その他	18,607	20,038
無形固定資産合計	20,429	21,871
投資その他の資産		
その他	13,394	13,949
貸倒引当金	△506	△467
投資その他の資産合計	12,888	13,482
固定資産合計	41,950	44,221
資産合計	156,597	144,210
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,601	27,327
短期借入金	854	855
未払法人税等	11,169	1,775
その他	22,512	20,914
流動負債合計	62,137	50,872
固定負債		
長期借入金	91	165
勤続慰労引当金	762	845
資産除去債務	890	917
その他	101	101
固定負債合計	1,845	2,030
負債合計	63,983	52,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	4,780	4,789
利益剰余金	63,573	60,907
自己株式	△765	△740
株主資本合計	74,791	72,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,440	2,515
為替換算調整勘定	△91	187
その他の包括利益累計額合計	2,348	2,702
新株予約権	516	583
非支配株主持分	14,957	15,862
純資産合計	92,614	91,306
負債純資産合計	156,597	144,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	74,030	86,571
売上原価	45,354	57,190
売上総利益	28,676	29,380
販売費及び一般管理費	15,690	23,026
営業利益	12,986	6,354
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	50	53
為替差益	—	105
その他	29	25
営業外収益合計	81	185
営業外費用		
支払利息	2	3
持分法による投資損失	234	576
その他	16	30
営業外費用合計	253	609
経常利益	12,814	5,930
特別利益		
固定資産売却益	64	—
投資有価証券売却益	632	—
その他	7	0
特別利益合計	703	0
特別損失		
減損損失	1,209	198
事業撤退損	—	175
その他	135	192
特別損失合計	1,344	565
税金等調整前四半期純利益	12,173	5,365
法人税、住民税及び事業税	3,237	2,352
法人税等調整額	1,434	538
法人税等合計	4,672	2,890
四半期純利益	7,500	2,474
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,587	1,148
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,913	1,326

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	7,500	2,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	461	65
為替換算調整勘定	△109	498
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	79
その他の包括利益合計	352	643
四半期包括利益	7,853	3,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,249	1,680
非支配株主に係る四半期包括利益	1,603	1,436

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,173	5,365
減価償却費	1,532	1,988
減損損失	1,209	198
売上債権の増減額(△は増加)	△4,410	△1,634
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△160	△89
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,222	258
未払金の増減額(△は減少)	△1,200	△1,759
未払消費税等の増減額(△は減少)	△941	△913
その他	183	△366
小計	7,163	3,048
利息及び配当金の受取額	93	54
利息の支払額	△1	△3
法人税等の支払額	△11,390	△11,963
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,135	△8,863
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△534	△1,009
無形固定資産の取得による支出	△3,477	△3,636
投資有価証券の取得による支出	△365	—
関係会社株式の取得による支出	△373	△315
貸付けによる支出	△511	△710
その他	116	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,145	△5,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
子会社の自己株式の取得による支出	△1,202	—
配当金の支払額	△3,145	△2,958
投資事業組合員への分配金の支払額	△188	△441
その他	275	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,260	△3,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	315
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,542	△17,728
現金及び現金同等物の期首残高	38,716	51,767
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8	55
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,165	34,094

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益計 算書計上額
	メディア	ゲーム	インターネ ット広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,278	29,489	38,914	367	1,980	74,030	—	74,030
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,541	265	1,794	—	154	4,755	△4,755	—
計	5,819	29,754	40,708	367	2,135	78,786	△4,755	74,030
セグメント利益又は損失 (△)	683	8,836	3,582	90	158	13,349	△363	12,986

(注)セグメント利益の調整額△363百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゲーム」、「インターネット広告」、「その他」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下及びサービスの廃止等により当初想定していた収益及び費用削減が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第1四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

ゲーム	1,121百万円
インターネット広告	84百万円
その他	2百万円
合計	1,209百万円

(のれんの金額の重要な変動)

「企業結合に関する会計基準」等の改正に伴い、改正後の会計方針を遡及適用しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は下表のとおりであります。

ゲーム	524百万円
インターネット広告	94百万円
その他	2,499百万円
合計	3,119百万円

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益計 算書計上額
	メディア	ゲーム	インターネ ット広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,199	34,502	45,198	89	2,580	86,571	—	86,571
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,732	147	3,576	—	270	5,726	△5,726	—
計	5,932	34,649	48,774	89	2,851	92,297	△5,726	86,571
セグメント利益又は損失 (△)	△4,588	6,455	4,726	△97	417	6,914	△560	6,354

(注)セグメント利益の調整額△560百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当第1四半期連結会計期間より、インターネット広告事業の更なる成長・強化を目的とした組織再編・事業再編を行ったため、事業の実態に合わせ「その他事業」に属していた㈱シーエー・モバイルの広告関連事業を「インターネット広告事業」に移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。